

2021 ISTANBUL

# 国際地理 オリンピックに ようこそ！

第15回 科学地理オリンピック日本選手権 および  
第17回 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



国際地理オリンピック日本委員会公式サイト <https://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、

一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理科学会

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック社

# 国際地理オリンピックは 「地理力」競う

## 地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の大垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU(国際地理学連合)の総会(プラハ:チェコ)で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、15回の世界大会と3回の地域大会(アジア・太平洋地域)が行われました。そして2021年にはイスタンブール(トルコ)で第17回国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2021 が行われます。

## 国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ:オランダ
第2回大会	1998年	リスボン:ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル:韓国
第4回大会	2002年	ダーバン:南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グティニア:ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン:オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ:チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ:台湾
第9回大会	2012年	ケルン:ドイツ
第10回大会	2013年	京都:日本
第11回大会	2014年	クラクフ:ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ:ロシア
第13回大会	2016年	北京:中国
第14回大会	2017年	ペオグラード:セルビア
第15回大会	2018年	ケベック:カナダ
第16回大会	2019年	香港:中国

## 地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー:台湾
第2回大会	2009年	つくば:日本
第3回大会	2011年	メリダ:メキシコ

# 国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

## ◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な現象や地域の課題についての問い合わせに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

## ◆マルチメディアテスト(MMT)

地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な現象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

## ◆フィールドワークテスト(FWT)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な現象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック(世界大会)ではすべて英語での出題と解答が求められます(辞書の持ち込みは可)。そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国的学生や先生と交流することも目的とするところです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」の大切な役割です。

科学地理オリンピック  
日本選手権 および  
国際地理オリンピック  
日本代表選抜大会

第1次選抜:マルチメディアテスト  
上位およそ100位まで

第2次選抜:記述式テスト

金 銀 銅 メダル授与

成績優秀者を対象とする  
第3次選抜:フィールドワークテスト

選抜試験の成績などを総合的に評価して日本代表候補を選考する。  
うち4名を日本代表として国際地理オリンピックに派遣する。

国際地理オリンピック  
iGeo

1. 記述式テスト  
2. マルチメディアテスト  
3. フィールドワークテスト

金 銀 銅 メダル授与

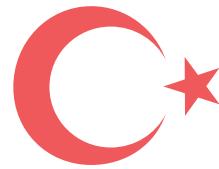
文化交流



# 第17回 国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2021

会期 2021年8月10日～16日(予定)

会場 イスタンブール(トルコ)およびその周辺



## 地理オリンピックガールズトーク



「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。世界では女子選手が活躍しています。世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学在学中、2019年香港大会出場)

平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学・同大学院卒、大手建設会社で土木技術者として活躍中、2013年京都大会出場)

井上 明日香先生(神奈川県立川崎高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)

林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2018年ケベック大会引率教員)



林：はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくれますか？

飯田：もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。

平賀：高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。

林：どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田：地理の問題集や日々の授業を大事にしていました。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。

平賀：私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせそうなものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。



林：世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田：大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀：私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。

井上：今の生活で、地理オリンピックの経験が役立っていると思うことはありますか？

飯田：世界大会に行って、地理により興味を持ちましたし、自分の英語力をもっと磨かなきゃと思ったので、今、大学の授業で地理や英語に関するものを履修しています。江戸時代の名所を文献から調べてまとめる授業では、ここはこういう地形だからこういう建物なのかなとか、地理学的な視点で考えることができます。

平賀：大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるといったことが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかななど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができて、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあると思います。

井上：やったことが活きているのは、私たちスタッフも嬉しいです。

林：最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田：地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれません、気負わずに受けてほしいなって思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というのも、大事だと思います。

平賀：気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身に着けたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上：国内選考は、女子の受験者が少ないので、男子に負けないよう積極的に受験してほしいですね。



## テストの様子(京都大会より)



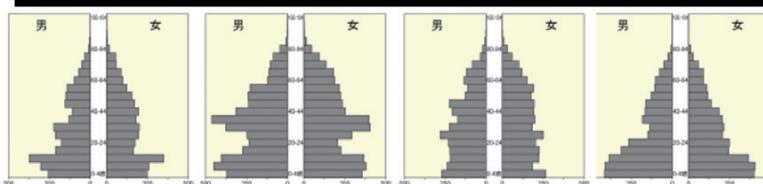
## 科学地理オリンピック(国際地理オリンピック)の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

### マルチメディアテスト(MMT)

#### 第1次選抜試験 問題例

①～④の人口のピラミッドは、愛知県のある郊外の町の、1950年、1960年、1975年、1985年のあるものである。この町は、戦後に過疎化を経験したが、1970年代以降に人口が増加に転じ、1980年代以降は急増した。1975年のグラフはどれか。

① ② ③ ④



#### 解答 ③

人口の社会増減が主に若年層によってもたらされることが前提に、社会増減に伴って年齢構成が変化する過程を読み取る。

解法：各年代の特色を想像して判断。

1950年：戦後まもなくは多産な状態で、富士山型。男性の戦死者が多い。→④

1960年：過疎化を経験=人口流出の顕著化。

10代後半～20代の減少が大きい。→①

1975年：人口が回復基調。

(先に1985年を選ぶ方が答えやすい)→③

1985年：人口が急増し、若年層とその子供世代が大きく膨らんだ星形を示す→②

### 記述式テスト(WRT)

#### 第2次選抜試験 問題例

図1は、海洋に浮遊するプラスチックごみの密度を示している。

2007～2013年のデータを基にした結果を示している。

(1)北半球において、プラスチックごみが多い理由を社会条件に着目して述べなさい。

(2)プラスチックごみがとくに多い海域Xの自然条件を述べなさい。

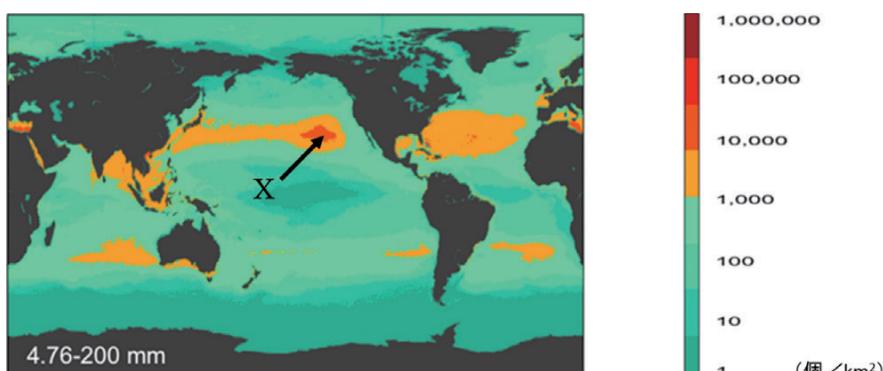


図1 (2007～2013年のデータを基にした結果を示している。)  
Marcus Eriksen et al. 2014. Plastic Pollution in the World's Oceans: More than 5 Trillion Plastic Pieces Weighing over 250,000 Tons Afloat at Sea. PLOS One, December 10.を一部改変

### 解答のポイント

- (1)ヨーロッパ、北アメリカ、南アジア～東アジアにかけての経済活動が活発なエリアの周辺に海流によって広がる。
- (2)北半球の時計回りの海流系が渦を巻く中央にたまる。



2019年8月に香港で行われました

第16回

# 国際地理オリンピック iGeo Hong Kong 2019

## 代表生徒・引率教員レポート

世界大会はテストだけではありません。  
ポスター・プレゼンテーションや文化交流・エクスカーションなど多彩なプログラムが用意されています。

敷居が高いものだと思わずぜひ地理オリンピックに挑戦してほしいです。パンフレットにこんなことを書くのもどうかと思いますが、私は大の地理好きというわけではありませんでした。しかし他の日本代表や先生方とお話しをさせていただいたり、学校ではなかなかできないフィールドワークをしたりすることで、地理という学問の新たな一面に出会うことができました。そして世界大会では今後の人生につながる貴重な体験をさせていただきました。テストも他の選手との交流も正直うまくできたとは言えません。しかしだからこそ、世界で通用する人材となるためにこれからもっと勉強やその他の活動を頑張っていこうという決意が生まれました。私にとって地理オリンピックはゴールではなくスタートになったと思っています。

日本代表選手 飯田菜未：茨城県立土浦第一高等学校

僕は中学生の時から何回も地理オリンピックにチャレンジしました。そこで地理オリンピックでしか得ることのできないたくさんの貴重な体験をしました。世界各国の選手のレベルの高さに驚くこともありましたが、地理的な新しい視点で街を見ることができるようになり、調査した地域の改善点を提言したり、日本の「地理」と海外の「地理」の差を実感したり、大会を通じて全てが一生の記憶に残るものとなりました。楽しさで自分が一番輝けるときでした。地理は文系でもあり、理系でもある学問です。科学オリンピックは理系が多いから、地理は社会科だから、は関係ありません！「輝きたい！」そう思ったら、イスタンブルへの最初の一歩、踏み出でてみませんか？

日本代表選手 植山隆斗：早稲田高等学校

"The study of geography is about more than just memorizing places on a map. It's about understanding the complexity of our world, appreciating the diversity of cultures that exists across continents. And in the end, it's about using all that knowledge to help bridge divides and bring people together."

—Barack Obama

これは2019年の国際地理オリンピック香港大会の閉会式の際、タスクフォースメンバーのリーダーの方が私たちに下さった言葉です。日本中の地理を学んでいる高校生へ。あなたは“just memorizing places on a map”で満足ですか？学校で学んでいる地理は、地理の世界のほんの入り口にすぎません。学校という小さな部屋を出て、地理オリンピックの扉を開けてみましょう。「違いを乗り越え、人々を一つにするための地理」、そんな素晴らしい世界があなたを待っています。

日本代表選手 高野広海：渋谷教育学園幕張高等学校

国際地理オリンピックで大会中に行われることはテストだけではなく、遠足や交流イベントなど様々なイベントが目白押しです。そのため選手同士の交流が非常に活発であり、世界各地から集まった極めて優秀な高校生たちと地理の話や自国の話、将来の夢などを語り合ったことは私の人生を変えるような出来事でした。地理オリンピックの国内予選では、写真や図が多用されておりクイズのように楽しめる一次試験、様々な資料を用いて現象の原因を探求したりする二次試験、自分で情報を集め調査地域を分析し考察する三次試験とどれをとっても面白いものばかりです。是非多くの方に受験していただき、受験することでもっと地理が好きに、もっと地理ができるようになってほしいと願っています！

日本代表選手 中尾俊介：洛星高等学校



各国選手団とともに



表彰式にて



日本のプレゼンの様子



熱気あふれるポスター発表

**POSTER PRESENTATION**

Smart city × Cooperation of Public administration, Company, and Residents  
—Case study in Yukagawaka—  
N. Iida, R. Ueyama, H. Takano, S. Nakao (Japan)

**INTRODUCTION**  
Yukagawaka is a satellite city which has been developed and managed by a real estate company since 1971. [population: 18,482 (as of June 2019)]

**PROBLEM**

- Lack of eco-friendly scheme
- Lack of urban functioning
- Lack of local liveability

**SOLUTION**

**Public Administration**

- Eco-circulation
- Community based smart-hub for living
- Promote Ecological integrity

**Company**

- Various services (e.g. home delivery, lending books or tools)
- Shared compact EV
- Promote Economic prosperity

**Residents**

- Utilizing vacant land for small outdoor cafes and green spaces
- Community bus
- Promote Liveable community

**Cooperation of the three actors enhances quality of life of residents!**

References: General Information Authority of Japan, National Land Information, Fundamental Geospatial Data, Population Census 2010, Sakai City, "Population Information" <http://www.city.sakai.lg.jp/-/Accessed 7 July 2019>

地理オリンピックは世界中から高校生が集まり、地理の技能や思考力などを競います。国際大会では、初めて見るような資料から情報を読み取り、初めて訪れる場所で地域の特徴を読み取るなど、単純に地名や用語などの知識を持っているだけでは好成績は残せません。世界各地から来た地理が好きな高校生との交流を重ねることも大事にしてほしいことの一つです。大会自体は一週間ほどの非常に短い間ですが、三種類のテストにフィールドワーク、ポスター・セッションなど充実したプログラムが用意されています。貴重な経験ができ、新たな世界を見ることができると思います。地理が好きだという人や世界のことを知りたい人はぜひ挑戦してみてください。

日本代表引率教員 井上明日香：神奈川県立川崎高等学校

このパンフレットを手にしている人は、間違いなく地理に興味のある人ですね。あなたは地理のどのようなところに魅かれたのでしょうか。地理オリンピックで優秀な成績を残すには、基本的な知識はもちろん必要です。しかし、それよりも身に付けてきた知識や技能をどう活用するか、活用できるか、大切なのはここです。地理は、現代世界の自然・社会・文化等の多様性を学ぶ科目です。私は日本代表を引率し、彼らの様子を見ていて感じたことがあります。それは、普段の地理の学習が、世界に繋がっていくことを彼らが実感できるのが、地理オリンピックだということです。日々学んでいる地理を、机上に留めておくのは勿体ないです。地理オリンピックの参加者はみな、興味や関心を同じくする仲間たちです。ぜひ地理オリンピックに参加しませんか。

日本代表引率教員 中村光貴：筑波大学附属高等学校